

東京教区時報

第1025号
2007年2月25日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先

▽ぶどうのいえのため▽ハンセン病問題啓発の日(11日)▽浦安集会・浦安宣教のため▽平和を實現するキリスト者ネットの働きのため▽東京教区神学生のため(25日)

◇3月の代祷・信施奉献先

▽聖公会生野センターのため(4日)▽教区青少年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽キッドスクール(幼稚園)のため

◆とこしえの平安

2月15日 西堀美保子 (100)

聖アンデレ

▽聖路加国際病院礼拝堂の3

月オルガンコンサート・夕の祈り 7日(水) 18時半、19時。演奏者||戸沢真弓。入場無料(会場献金)。
▽聖パウロ教会3月ランチタイムコンサート 9日(金) 12時20分からトークも交え30分程度。オルガン||高橋博子。入場無料。
▽神田キリスト教会パイプオルガン奉献10周年記念コンサート 3月14日(水) 19時。演奏||ジャン・クロード・ツェンダー。3千円(全自由席)。03(3251)4981。
▽祈りと音楽の夕べ||在日難民・移住労働者のためのチャリティーコンサート 3月17日(土) 14時・聖アンデレ

今週・来週の予定

2月25日~3月10日

25(日) 大齋節第1主日
27(火) 銀座朝拝会
3月
2(金) オルターギルド研修会 (~3日・ナザレ) (神学院)
3(土) 山手G大齋静想会
4(日) 大齋節第2主日
5(月) 財政委員会
7(水) 人権委員会 (聖バルナバ)
9(金) 広報委員会

レ教会。出演||ルシア塩満アルパトリオ他。チケット||前売り一般2千5百円・学生2千円(当日券||各5百円増)。
NCC気付難キ連(難民・移住労働者問題キリスト教連絡会)主催、電話03(3207)7801。

(この用紙は再生紙を使っています)

わたしは土の器です。九谷焼の華麗さも、萩焼の優しさも、備前焼のような味わい深さも持ち合わせてはいません。さりとしてセラミックのような強さも無いのです。もろく、何の取り柄もない土の器なのです。けれど 《恵みに生かされて》

主よ、わたしの杯は溢れます

執事 佐久間恵子

のために用いなくて

この土の器に、神はその「恵み」をいつも注いで下さるからです。神の恵みは壊れた蛇口から流れ続ける水のように、絶えることなくほとぼしり、わたしを溢れさせます。わたしはいつも縁まで満たされていて、渴くことがありません。しかし時々思います。素晴らしい無償の贈り物である神の恵みを、

わたしから溢れるままにしておいてよいのだろうか、と。わたしはいつも潤い、満ち足りています。この溢れた恵み、わたしに有り余る恵みをただ流れ出すままにしてしまつて、無駄にしてしまつてよいはずはありません。土の器から溢れて流れ出す神の恵みは、きつと他の誰かを満たし潤すことができる。そのために用いなくて

(東京聖マリア教会牧師補)

◆大齋プログラム3

▽「十字架の道行き」Ⅱ・大森聖アグネス教会 毎金曜日19時聖餐式後・聖ミカエル教会 毎金曜日19時・東京聖十字教会 聖土曜日(4月7日)を除く毎土曜日19時。

▽山手教会グループ「大齋静想会」(信仰と生活委員会後援)

3月3日(土)10時〜16時・聖公会神学院諸聖徒礼拝堂。静想指導Ⅱ速水敏彦司祭。携行品Ⅱ聖書・祈祷書・参加費千円(昼食代他)。申込締めⅡ2月25日。信施奉献先Ⅱモニカ会。照会電話03(33334)2812Ⅱ幹事教会・聖マーガレット。

▽東京諸聖徒教会「ビデオとお話」『子どもはおとなのパ』

トナー・神さまとともに』講師Ⅱ坪井節子氏(弁護士・カリヨ子どもセンター代表)。3月4日(日)13時半〜15時。電話03(3945)2074。

▽聖マーガレット教会大齋研修『黙想』『いのちの深呼吸』

各主日13時〜14時半。②3月4日Ⅱみことばで祈る(植松功)③11日Ⅱからだで祈る(中村淳聖職候補生)④18日Ⅱことばから霊へ(堀越喜晴)⑤25日Ⅱ歌・沈黙・みことばとテゼの歌を通して⑥4月1日Ⅱ十字架の道行きと世界の苦悩と共に。電話03(33334)2812。

▽ナザレ修女会「黙想会」3月7日(水)10時半聖餐式〜16時頃・聖家族礼拝堂。講師・内田稔司祭。携行品Ⅱ祈祷書・昼食。申込

みⅡ5日まで。電話0422(48)4560、FAX:4601。

▽世界祈祷日ⅡNCC女性委員会 3月2日(金)13時半・日本基督教団阿佐ヶ谷教会。説教Ⅱ小井沼眞樹子日本基督教団正教師。会場ⅡJR中央線阿佐ヶ谷駅北口下車、新宿方面へ徒歩7分、電話03(3429)2077。

▽下町教会グループ「下町大空襲記念礼拝」(正義と平和協議会協賛) 3月10日(土)15時・聖ルカ国際病院礼拝堂(1号館)。説教Ⅱ竹田眞主教。信施奉献先Ⅱ在韓被爆者救援(大韓聖公会ソウル教区母の会)。照会電話03(3807)9937Ⅱ幹事教会・千住基督。

【学びと働きから】33

東京教区モニカ会

モニカ会(東京教区神学生後援会)は1986年に発足し、今年で21年になります。その間33人の聖職志願者に対し、一時は神学院の学費全額を教区に献金し、そこから納付していた時もありました。

現在、聖公会神学院で学ぶ聖職候補生、同志願者に対し教区を通して月額5万円の図書費と家族のある方に2万円、そして家族寮を使用する方への援助を差し上げております。また卒業祝い金として3万円を贈っています。

これの原資となるのが、毎年教区内の各教会の熱い祈りのうちに捧げられる年間2百万円から5百万円の献金です。06年度

は約5百万円の決算で学生へ約3百40万円を、神学院へ50万円を贈ることができました。これはひとえに皆様のお心の結果と受け止めております。

いま東京では牧師派遣のない教会が11あり、囑託司祭様のご奉仕で補われている状況です。この3月に4人の聖職候補生が卒業し、1月には3人の教区所属司祭様が誕生、また今年の後援対象者となる神学院入学志願者も2人おられると聞いておりますので少し明るい感じがいたします。将来は定年となる方々もおられますから樂觀はできませんが、さらなる皆様方のお祈りと献金で、私たちの信仰の手引きとなる人たちが与えられますように希望いたします。

モニカ会 会長 大久保忠昭

▽:『蠅の王』という小説をご存知だろうか。イギリスのノーベル賞作家ウィリアム・ゴールディングが1954年に発表した作品である。乗っていた飛行機が孤島に不時着し、救助隊を待つ少年たちの波乱の物語で、日本では平井正穂訳で75年に新潮社から出た。すぐ買ったものの面白くないのでそのままにしていたが、奇妙な書名だけは気になっていて。最近、聴講しているルーテル学院の徳善義和先生から「蠅の王」とは、聖書に出てくる悪霊の頭ベルゼブルのこと、人間の救いはどこから来るかをテーマとする寓意小説だと聞いた。そういわれて読んでみると、結構面白い。一読をお勧めする所以である。(HY)